

西小 家庭学習の手引き

岩内町立岩内西小学校

家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身に付けるため、また、自ら学び進める力を身に付けるためにとても大切です。そして、その習慣が将来の夢をかなえる力となります。この手引きでは、家庭学習の具体的な学習の内容例を紹介しています。ぜひ、ご活用ください。

☆学習のしかた

- 1 毎日、自分が決めた時こくに机に向かいましょう。
- 2 学習の時間や量を決めましょう。(時間を正確に測りましょう)
- 3 机の上には学習用具と時計だけをのせましょう。
- 4 テレビや音楽を消して勉強しましょう。
- 5 終わったら、次の日の学習の準備をしましょう。
*宿題があるときは、宿題をさきにやりましょう。



☆家庭学習時間のめやす

※学年×10分

学 年	時 間
1 年	10分
2 年	20分
3 年	30分
4 年	40分
5 年	50分
6 年	60分

学校で出す宿題（プリントやノート学習）、読書、音読なども家庭学習の時間に含みます。

◇◆保護者の皆様へのお願い◆◇

- 出来るだけ学習したことに目を通し、よいところを見つけ、「がんばったね。」とほめてあげてください。ほめたり、励ましたりすることは、お子さんが学習に向かうやる気につながります。
- 「早寝・早起き・朝ご飯」の取り組みをお願いします。日常生活のリズムを整えることで、落ち着いて学習に取り組めるようになります。
- 困ったとき、悩んだときには、担任にご相談ください。

学習の内容例～低学年～

ほめ方もいろいろ

- ・大きな声で、読めたね。
- ・すらすらと、聞きやすいはやさだね。
- ・「〇〇（主人公）」の気持ちになっ
て読めたね。

1 教科書の音読

- 今学習しているところを何回読むか自分で決めて、
声に出して読みましょう。
- 練習したら、お家の人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、教科書や音読カードによんだしるしをつけましょう。
ポイント：聞いている人に意味がわかるように、漢字を正しく、気持ちをこめて



2 文字の練習

- ひらがなでしりとりをしながら書いてみましょう。
- 習ったひらがな、カタカナ漢字を筆順に気をつけてノートに練習しましょう。
(読みがなもつけましょう。)

3 日記・作文

- くっつき「は」「へ」「を」を使って読みやすい文を作りましょう。
- カタカナの言葉や漢字を使って文を作りましょう。
- 「」を正しく使って会話文を入れた文を書きましょう
- お家の人や先生やなどに教えたことを文に書きましょう
- 遊んだことや楽しかったことを書きましょう
ポイント：順序よく、思ったこと 気付いたこと



4 読書

- 絵本や物語、いろいろな種類の本を読みましょう
- 物語の読み聞かせを聞きましょう



5 算数の練習問題

- あわせて 10 になる数を書きましょう
- 大きい数を 10 がいくつと 1 がいくつに分けましょう
- たし算やひき算の練習をしましょう。九九の暗唱ができるように練習しましょう。
- 算数の問題を作ってみましょう。
- たし算、ひき算、かけ算になる問題を作りましょう



◆◆低学年の保護者の皆様へのごお願い◆◆

- お子さんと一緒に学習して下さい。
- 勉強しやすい環境を整え、きっかけづくりをしてください。

学習の内容例～中学年～

1 教科書の音読・黙読

- その日に学習したところや、次に学習するところを
読んでみましょう。
- 読んだら、教科書や音読カードに読んだしるしをつけましょう。

タラは魚へんに
「雪」、
魚へんに「雷」だと、
・・・なるほど。
おもしろいね！

2 漢字の練習・意味調べ

- 習った漢字をノートに練習しましょう。
 - 習った漢字を使って、「熟語」や「短文」で書きましょう。
 - 国語辞典を使って、意味のわからない言葉を調べましょう。
 - 調べたらノートに意味を書いておきましょう。
- ポイント：「とめ」「はね」「はらい」、へんとつくり



3 日記・作文

- その日の出来事や、考えたこと、図鑑や事典で調べたこと等について書きましょう。
- 「」を正しく使って会話文を入れた文を書きましょう。
- お家の人や先生などに伝えたいことを文に書きましょう

ポイント：順序よく・伝えたいことを整理して

4 読書

- 物語や詩、図鑑や事典など、いろいろな種類の本を読みましょう。

5 算数の練習問題（教科書・ドリル・プリント・テスト）

- たし・ひき・かけ・わり算の練習をしましょう。
- 九九の暗唱ができるように復習しましょう。
- 算数の問題を作ってみましょう。
(たし算・ひき算・かけ算・わり算になる問題を作りましょう。)
- その日に学習した問題を、家でも練習になる問題を作りましょう。
- まちがえた問題は、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでくり返し取り組みましょう。



学習の内容例～高学年～

1 学習に関係のあることや「おもしろそうだな」と

思ったことを調べる

○本とインターネットで調べて、ノートに書いたり、「〇〇新聞」などにまとめたりする。

注意：インターネットはあくまでも情報や知識を得るための道具の一つです。本当に学ぶべきものは、実際の生活の中にたくさんあります。



岩内では、昭和29年に、大きな火事があったんだ……。郷土館へ行って調べてみたいな。

2 漢字の練習・意味調べ

○習った漢字をノートに練習しましょう。

○習った漢字を使って、「熟語」や「短文」で書きましょう。

○国語辞典を使って、意味のわからない言葉を調べましょう。

○調べたらノートに意味を書いておきましょう。

ポイント：字形、へんごつくり



3 日記・作文

○心に残った出来事に題名をつけて、習った漢字をたくさん使って書きましょう。

○ニュースや身の回りの事柄から自分でテーマを決め、感想を書いてみましょう。

4 読書

○いろいろな種類の本を読みましょう。

(自分の好きな本の種類を見つけましょう。作家、ファンタジー、ノンフィクション等)

5 算数の練習問題（教科書・ドリル・プリント・テスト）



○公式や図形の性質をノートにまとめましょう。

○その日に学習した問題を、家でも練習しましょう。

(同じ問題を何度も練習すると間違えず、早くできるようになります。)

○教科書やドリルの問題をくり返ししましょう。まちがえた問題は、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでくり返し取り組みましょう。

○大事なところに線を引きながら、教科書や資料を読んでみましょう。

○大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめてみましょう。

○分からない内容や意味のあることを調べてみましょう